

令和7年度 アオコ情報（河川 No. 7）

8月14日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}は、新川がアオコレベルで最大1相当^{※2}、備前川及び土浦沖合がアオコレベルで1相当でした。

新川、備前川及び土浦沖合のアオコレベル

<新川>

- ・ 神天橋及び新港橋でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：5～10 µg/L）、新川河口沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：106 µg/L）でした。

<備前川>

- ・ 岩田橋、竹中橋及び備前川河口沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：71～115 µg/L）でした。

<土浦沖合>

- ・ 土浦沖合①及び土浦沖合②でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：79～128 µg/L）でした。

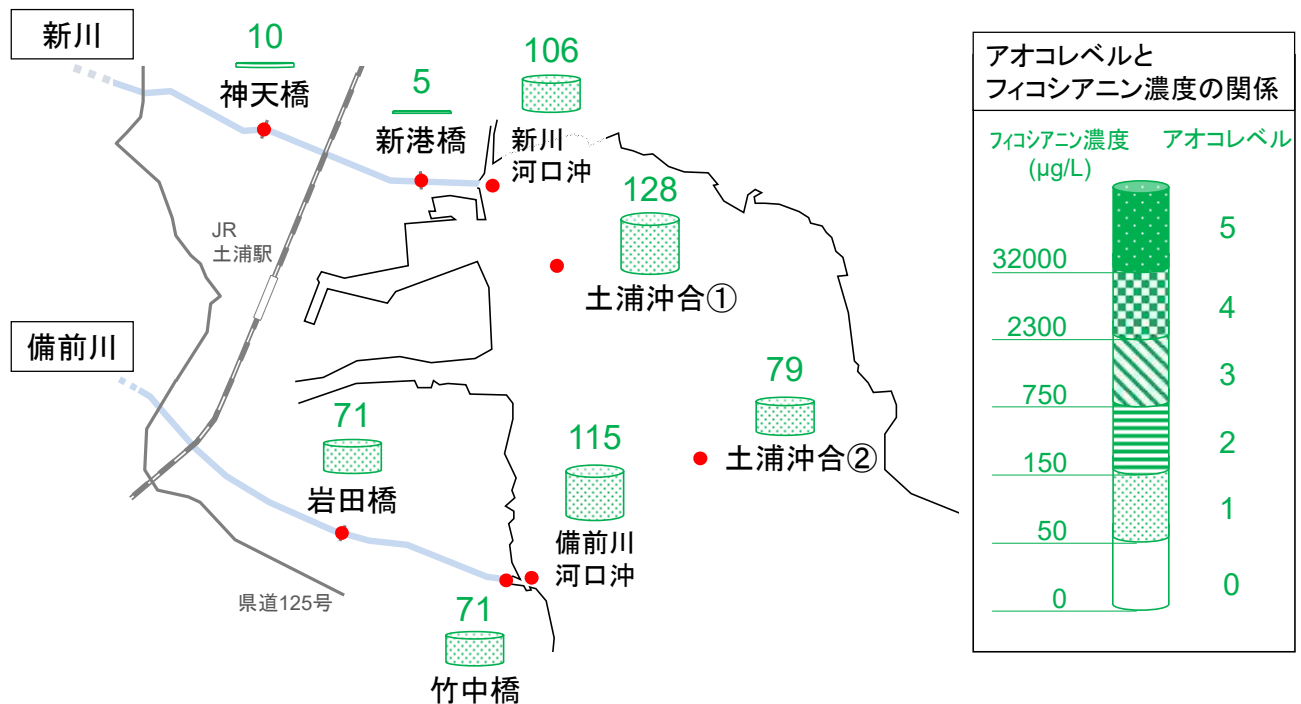


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			備前川			土浦沖合	
	神天橋	新港橋	河口沖	岩田橋	竹中橋	河口沖	①	②
採水時刻	8月14日	8月14日	8月14日	8月14日	8月14日	8月14日	8月14日	8月14日
	10:35	10:54	9:46	11:14	11:27	9:18	9:40	9:27
水温(℃)	28.0	28.7	28.7	28.6	28.8	28.4	28.9	28.7
pH	8.1	8.0	8.7	8.2	8.3	8.5	8.7	8.8
EC (mS/m)	28.5	44.8	33.9	27.7	29.8	30.4	31.8	30.9
透視度 (cm)	39	> 50	26	21	22	22	29	26
フィコシアニン (μg/L)	10	5	106	71	71	115	128	79
クロロフィルa (μg/L)	63	20	87	118	84	77	89	65

● (参考) アオコレベル

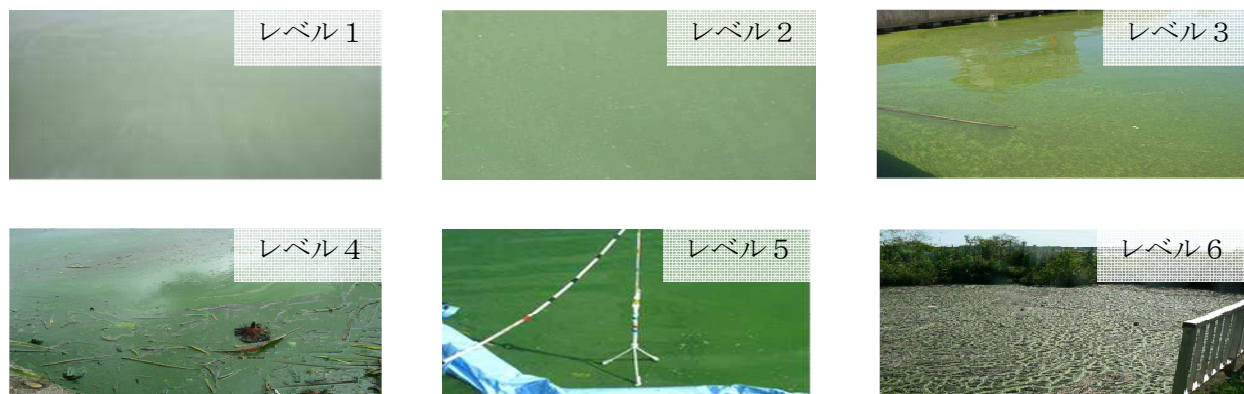


図2 アオコレベル